

「水土を守る人々」では、農業や農業用水の役割とこれらが持つ多面的機能等が十全に発揮されていくために、農業水利施設等の維持管理を支える人々の日常にスポットを当てて、その取り組みを紹介することで、農業農村整備や多面的機能の発揮が「人」の支えの上に成り立っていることを伝えていきます。

※不定期で掲載いたします。

東シナ海に浮かぶ小さな島の、豊かな農業と農村を守る人

～ 伊是名^{いぜな}村土地改良区 主事 島^{しま} 淳^{じゆん} 氏 ～ 沖縄県伊是名村

1. 国営事業との縁で伊是名村土地改良区へ



千原貯水池(千原地下ダム)

伊是名島は沖縄県那覇市から95kmの本島北部の北西海上の東シナ海に位置し、周囲が16.7km、面積が約14km²の小さな島で、人口は約千五百人である。この島の主要産業は農業で、さとうきびや畜産を中心に、米や野菜等の生産も行われている。

国営かんがい排水事業「伊是名地区」は、平成11年から20年度の間、伊是名島の農地520haを対象として水源施設の千原地下ダム、大野山内貯水池と基幹的な用水路の整備を行った。今回、紹介する方は、現在、この国営造成施設の維持管理を行っている伊是名土地改良区（以下、「改良区」）の主事「島 淳」さんである。

島さんは、県外の大学を経て帰省したのち、平成18年度に伊是名村農林水産課の非常勤として勤務。その後、平成21年3月の国営事業完了まで伊是名農業水利事業所で非常勤を勤めた。そして平成21年度からは改良区の職員として働くこととなった。島さんは伊是名島での就職当初から国営事業に接し、現職までの月日を過ごしてきた。島さん自身は就職のタイミングが国営事業と縁があって良かったと話す。



島主事(左)と東江事務局長(右)

2. 改良区の干ばつ時の取組や通常業務について

サトウキビは夏場に水を多く使うため、干ばつが夏場に発生してしまった場合、

配水管理に10名程度作業員を雇い、各ほ場まで過不足無く水を提供するよう努めている。干ばつ時の配水管理としては、各幹線ごとに順番で制水弁を閉め給水制限を行う。給水制限を解除した後は、制水弁を急に開いて水流すと管路を破損する恐れがあるため、制水弁から末端ほ場までの管路中に、ゆっくりと水を流しながら空気弁で空気を抜き、排泥弁等の着水確認を行って充水作業を行う。その充水作業の完了をもって給水制限は解除となる。受益地内の数千個の給水栓を対象に作業を行うため、作業員を増員しても気を遣う作業となり重労働である。最近では、平成25年度に沖縄県の伊是名島を含む離島各地で干ばつが発生し、その時も給水制限で対応し大変だったが、かんがい施設が整備されているお陰で農作物が守れたと島さんは話す。

冬場は主な作業として、施設の補修作業等を行う。施設を見回り点検したり、農家からの苦情や相談、要望対応など、その都度迅速に対応するよう勤めている。

水源の水質管理も大事な業務である。水源の千原地下ダムは地表貯水部と一部接続した、地下と地上の貯水部を組み合わせた複合型貯水池である。地下貯水部からは海水位以下の地下水を取水するため、39箇所の観測孔を利用し塩分濃度を定期的に測定している。地表貯水池でもボートを使用し、水面の決められたポイントで塩分濃度を測定し、水質変動への迅速な対応に備えている。



塩分濃度測定の様子



かんがいチューブの設置の説明をする
島主事（給水栓には赤字で曜日が記入）

常に安定した水供給のために尽力しているが、ちょっとした工夫として、ブロックローテーションの散水曜日を各給水栓に目立つように大きく表示している。単純であるが、該当曜日以外に水が出ていれば一目で違反が分かる良い方法だと教えてくれた。

これらの通常業務の他に、県内各地から訪れる伊是名島への営農視察等の来客も積極的に対応している。沖縄県本島の小学生離島間交流事業への協力も行っており、昨年の6月30日には、ほ場で実際にかんがいチューブを這わせて設置し、散水まで行う体験イベントを指導した。沖縄の6月はとても暑かったが、生徒達のかんがいの仕組みや配水の過程を知って喜んでくれたため、やりがいがあったと話す。

3. これからの改良区

島さんの上司である東江事務局長は「島は、現場経験を十分に積んでいるので頼もしいよ。今年度からは改良区運営にかかる予算も担当してもらうので、経営面でも知識を身に付けてほしい。改良区の将来を背負ってもらうために、さらなる活躍を期待しているよ。」と話す。

島さんは、「これからは、施設の経年劣化に伴う補修・維持管理の作業が増えていくと思います。離島の地理的要因による、資材等の輸送費コスト増や配達遅延に悩まされているため、突発的な施設等の破損・事故等でも迅速に対応できるよう維持管理作業の優先順位や事前準備等を見直して対応したいですね。」と話す。また、「伊是名島の農家が、地下ダムの水を活用して、高収益作物の導入や、農産物の生産から加工、販売までの6次産業化などに取り組めるように万全の体制を整えて行きたいですね。農家が安心して農業に取り組む基盤があることで、農家自身でも経営手腕を身につけてもらえるよう、伊是名島全体のためにも改良区職員として頑張っていきます。」と話す。離島ゆえに営農面で厳しいところもあるが、伊是名島の農家のために改良区も一緒に頑張る強い意思が、穏やかな表情の中に垣間見えた。

島さんをはじめ改良区の全職員5名で、農家や地域の「ありがとう」の声を糧に小さな島の豊かな農村を目指して日々頑張っている。



若手技術者から取材を受ける東江事務局長と島主事

追伸：島さんの上司の東江事務局長は伊是名村で有名なタコ取り名人です。某テレビ番組でよゐこ濱口さんにたこ漁を教えました。

【沖縄総合事務局農村振興課】